

インターンシップ報告会 ～佐藤農園～

2012年11月1日(木)

時森由佳

名古屋文理大学

健康生活学部フードビジネス学科



インターンシップの概要

■ 場所 佐藤農園(山梨県山梨市東818番地)

■ 日時 8月1日(水)～5日(日)

1日 : 9時～17時

2日～5日 : 7時～17時

■ 内容

- ・生産:モモの収穫、農作業
- ・販売:お客様に直接、モモを販売
- ・業界研究:農協、ジャム会社見学

■ インターンシップ参加者

立正大学、玉川大学、神奈川大学、白鷗大学、
京都女子大学、沖縄キリスト教学院大学、
弓削高等専門学校、旭川高等専門学校、身延山高校

実習で学んだこと・得たこと

- インターンシップ全体を通して、「現場対応能力」、「コミュニケーションの大切さ」を学んだ。
 - ①天候が大きく関係してくる仕事なので、計画が思うようにいかない(収穫時期や出来栄などが左右する)ことが多い。常に次策を考えることが必要である。
 - ②販売ではどのようにして売上を伸ばすかを考えたり、チームで業務を行うので対人関係を大切にすることに改めて気付く。

ビジネス見学(8月1日)

■ ビジネス見学

商工会議所に黄美娘(桃)を届ける



地元のパートさん方に黄美娘のピューレ作りを依頼



黄美娘のピューレを受け取りに再度商工会議所へ



黄美娘のピューレをパティシエさんに渡す。
(黄美娘のロールケーキを作ってもらうため)

農協見学、ジャムの商品開発会議出席（8月1日）

■ 農協見学

黄美娘の選果作業をするため、農協より仕入れる。

■ ジャムの商品開発会議出席

くだものジャムの商品開発会議に出席。

内容：ジャムの二層化、瓶の形状、陳列方法など。



台湾留学生との交流(8月2日)

- 佐藤農園へ1日農業体験のため台湾から留学生が23人来園。

午前:グループに分かれて作業。

昼食を一緒に作る班、桃の手入れをする班。

午後:モモシロップ作り、桃の収穫。

モモシロップをかけたアイスを食べながら交流。

台湾留学生との交流①(8月2日)



台湾留学生との交流②(8月2日)



食の追求(8月2日)

■ 食追求

“「食」に携わる人は、食にこだわらなくてはいけない”
と教わる。

料理班に入り、班で協力し1日かけてカレーを作る。

こだわり

- ①玉ねぎが飴色になるまで3時間炒める。
- ②隠し味として味噌、コーヒー、ケチャップ、ソースを入れた。
- ③見た目を良くするため、チーズ、粉パセリをトッピング。

食の追求①(8月2日)



食の追求②(8月2日)



販売に向けての準備(8月3日)

- モモの収穫
- 試食用のモモゼリーを作る
(約200人分)
- モモの選果、キャップ付け
(300円、200円、100円)
- 贈答用のモモの箱詰め

桃の収穫①(8月3日)



桃の収穫②(8月3日)



桃の収穫③(8月3日)



桃の収穫④(8月3日)



桃の収穫⑤(8月3日)



桃の収穫⑥(8月3日)



試食用のモモゼリーを作る(8月3日)

規格外のモモを活用(モモゼリー、モモシロップ、モモジュース)



モモの選果①(8月3日)



モモの選果②(8月3日)



贈答用のモモの箱詰め(8月3日)



青山にて販売(8月4～5日)

- 東京・青山 国連大学前にあるFarmer's Marketに出店。

モモ3種類(黄美娘、浅間白桃、ネクタリン)を販売。

- 試食販売、呼びかけを積極的に行う。
- 1日目、520個完売。
- 2日目、200個完売。

青山にて販売①(8月4～5日)



青山にて販売②(8月4～5日)



青山にて販売③(8月4～5日)



まとめ

- ①実際に生産から販売、更にビジネスまで体験出来、とても内容の濃い実習となった。
- ②販売では、商品陳列の仕方や売り言葉など、工夫次第で売り上げが大幅に変化していくことを体感した。
- ③農業ビジネスは気候によって業務が大きく左右されるので、臨機応変に行動が必要である。

反省

- ①農業に関してあまり知らなかった状態で、インターンシップに参加したので、下調べをしておけば更に見方が変わり視野が広がった。
- ②試食用のゼリーを前日から仕込んで準備していたが、炎天下だったため短時間で溶けてしまった。また、保存状態が悪く、2日目には腐敗してしまっていた。寒天にしたら溶けずに済んだし、保存方法も、綿密に練っておくべきだった。

農園実習を終えて



販売実習を終えて



最後に

- 北海道から沖縄までの学生と仲良くなれ、情報交換が出来た。

自分の考えを持ち、夢があるこのインターンシップ生は、ただの友達ではなく、今後良きビジネス仲間となるのではないかと思う。

他の企業では体験出来ないこと、更に、そんな素敵な仲間達を巡り合わせてくださった佐藤農園インターンシップに行けて本当に良かったと心から言える。